



Red Hat Decision Manager 7.1

Red Hat Decision Manager 7.1 リリースノート

Red Hat Decision Manager 7.1 Red Hat Decision Manager 7.1 リリース ノート

Red Hat Customer Content Services
brms-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2019 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書は、Red Hat Decision Manager 7.1 のリリースノートです

目次

前書き	3
第1章 製品の概要	4
第2章 新機能	5
2.1. インストールおよびアップグレード	5
2.1.1. Red Hat Decision Manager 更新ツールの統合	5
2.1.2. Tomcat 9 のサポート	5
2.2. DECISION CENTRAL	5
2.2.1. マルチ GIT ブランチサポート	5
2.3. DECISION SERVER	5
2.3.1. DMN (Decision Model and Notation) モデル	5
2.3.2. 予測モデルマークアップ言語 (PMML) モデル	6
2.3.3. 実行可能ルールモデル	6
2.3.4. Spring Boot のサポート	6
2.4. RED HAT BUSINESS OPTIMIZER	6
2.4.1. マルチスレッド増分解決	6
2.4.2. 従業員勤務表	7
第3章 テクノロジーレビュー	8
第4章 既知の問題	9
4.1. DECISION CENTRAL	9
4.2. OPENSIFT	9
4.3. デシジョンエンジン	10
第5章 RED HAT DECISION MANAGER 7.1.0 で修正された問題	11
5.1. インストールと移行	11
5.2. DECISION CENTRAL	11
5.3. デシジョンエンジン	12
5.4. DECISION SERVER	13
5.5. データモデラー	13
5.6. OPENSIFT における RED HAT DECISION MANAGER	14
5.7. MAVEN リポジトリ	14
5.8. RED HAT BUSINESS OPTIMIZER	14
第6章 RED HAT DECISION MANAGER 7.1.1 で修正された問題	15
6.1. DECISION CENTRAL	15
6.2. インストールと移行	15
6.3. デシジョンエンジン	15
6.4. OPENSIFT における RED HAT DECISION MANAGER	15
6.5. MAVEN リポジトリ	15
付録A バージョン情報	16

前書き

本書では、Red Hat Decision Manager 7.1の新規機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、および修正された問題を説明します。

第1章 製品の概要

Red Hat Decision Manager は、ビジネスルール管理、複合イベント処理、Decision Model & Notation (DMN) 実行、およびプランニングの問題を解決するための Business Optimizer を組み合わせた、オープンソースの意思決定管理プラットフォームです。これにより、ビジネス上の意思決定を自動化し、そのロジックをビジネス全体で利用可能にします。

ルール、デシジョンテーブル、および DMN モデルなどのビジネスアセットは、集中リポジトリに保存されます。これにより、ビジネス全体で一貫性や透明性を維持し、監査を行えます。ビジネスユーザーは、IT 担当者からのサポートなしでビジネスロジックを編集できます。

Red Hat Decision Manager 7.1 では安定性が増し、問題がいくつか修正され、新機能が加わっています。

Red Hat Decision Manager は OpenShift 上で完全にサポートされ、各種プラットフォームにインストールできます。



注記

Red Hat Decision Manager は、Java 8 以降が必要になります。

Red Hat Decision Manager のサポートポリシーについての詳細は、[Release maintenance plan for Red Hat Decision Manager 7.x and Red Hat Process Automation Manager 7.x](#) を参照してください。

第2章 新機能

本セクションでは、Red Hat Decision Manager 7.1 の新機能について説明します。

2.1. インストールおよびアップグレード

2.1.1. Red Hat Decision Manager 更新ツールの統合

これまでは、Red Hat Decision Manager のパッチ更新およびマイナーリリースのアップグレードは、別のパッチやアップグレードツールで行われてきました。今回のリリースでは、新たな **rhdm-\$VERSION-update.zip** 更新ツールを使ってパッチ更新とマイナーリリースアップグレードの両方を Red Hat Decision Manager 7.1 に適用することができます。バージョン 7.1 から 7.1.1 への更新といった Red Hat Decision Manager のパッチ更新には、最新のセキュリティー更新とバグ修正が含まれます。バージョン 7.1.x から 7.2 へのアップグレードといった Red Hat Decision Manager のマイナーリリースアップグレードには、機能強化、セキュリティー更新、バグ修正が含まれます。

Red Hat Decision Manager 更新ツールの詳細情報については、[Patching and upgrading Red Hat Decision Manager 7.1](#) を参照してください。



重要

Red Hat Decision Manager 7.0.x から 7.1 へのアップグレードには、Red Hat Decision Manager 7.1 で提供される Decision Central 移行ツールを使って Red Hat Decision Manager 7.1 におけるプロジェクトデータ構成の改善版に適応する必要があります。移行の手順については、[Migrating from Red Hat Decision Manager 7.0 to Red Hat Decision Manager 7.1](#) を参照してください。

2.1.2. Tomcat 9 のサポート

Red Hat Decision Manager は、Tomcat 9 に対応した JBoss Web Server 5.0 で利用可能です。

2.2. DECISION CENTRAL

2.2.1. マルチ GIT ブランチサポート

Decision Central はマルチ GIT ブランチ対応となり、複数のソースブランチで交換して作業ができるようになっていました。プロジェクトのページで、ライブラリーの階層リンク内のブランチドロップダウンメニューを選択すると、この機能にアクセスできます。

2.3. DECISION SERVER

2.3.1. DMN (Decision Model and Notation) モデル

Red Hat Decision Manager 7.1 には、適合レベル 3 の DMN 1.2 モデルに対する完全ランタイムサポートが含まれます。組み込み DMN モデルデザイナーは含まれていませんが、サードパーティーの DMN オーサリングプラットフォームを使用して DMN モデルを設計し、そのモデルを Red Hat Decision Manager プロジェクトに含めて実装、実行できます。DMN モデルデザイナーは、近い将来 Red Hat Decision Manager に追加される予定です。

Red Hat Decision Manager 7.1 における DMN サポートについての情報は、[Designing a decision service using DMN models](#) を参照してください。

2.3.2. 予測モデルマークアップ言語 (PMML) モデル

Red Hat Decision Manager 7.1 は、以下の PMML 4.2.1 モデルタイプをサポートしています。

- 回帰モデル
- スコアカードモデル
- ツリーモデル
- マイニングモデル (サブタイプ `modelChain`、`selectAll`、`selectFirst`)

PMML モデルタイプとマイニングモデルのサブタイプは、利用可能になり次第、サポート対象を拡大していく予定です。

Red Hat Decision Manager 7.1 における PMML サポート情報は、[Designing a decision service using PMML models](#) を参照してください。

2.3.3. 実行可能ルールモデル

実行可能ルールモデルは埋め込み可能なモデルで、ビルド時に実行するルールセットの Java ベース表記を提供します。実行可能モデルは Red Hat Decision Manager の標準アセットパッケージングの代わりとなるもので、より効率的です。KIE コンテナと KIE ベースの作成がより迅速にでき、DRL (Drools Rule Language) ファイルリストや他の Red Hat Decision Manager アセットが多い場合は、特に有効です。

Red Hat Decision Manager 7.1 における実行可能ルールについての詳細は、[Designing a decision service using DRL rules](#) の "Executable rule models" を参照してください。

2.3.4. Spring Boot のサポート

以下の Spring Boot スターターをプロジェクトに使用できます。

- 完全機能の Decision Server
 - `groupId: org.kie`
 - `artifactId: kie-server-spring-boot-starter`
- Decision Server のルールおよびデシジョン
 - `groupId: org.kie`
 - `artifactId: kie-server-spring-boot-starter-drools`
- Decision Server のプランニング
 - `groupId: org.kie`
 - `artifactId: kie-server-spring-boot-starter-optaplanner`

2.4. RED HAT BUSINESS OPTIMIZER

2.4.1. マルチスレッド増分解決

Red Hat Business Optimizer はマルチスレッド増分解決をサポートするようになりました。解決プロセスは、繰り返し実行で完全に再現可能なまま、複数の CPU コアで並行して実行することができます。タスクによっては、4 コアを使用すると、1 コア使用の場合と比較して、3 倍以上の速さで解決可能となります。マルチスレッド増分解決を使用するには、タスクソースの編集は必要ありません。

2.4.2. 従業員勤務表

従業員勤務表スターターアプリケーションは大幅に改善されました。

- 新たなテナントが作成でき、実際のデータでアプリケーションを使用できます。白紙状態にデータを入力することができます。
- 通知やパフォーマンスなど、インターフェイスが改善されました。
- 長い期間をスクロールするのではなく、週を選択して表示することができます。

第3章 テクノロジープレビュー

本セクションでは、Red Hat Decision Manager 7.1 のテクノロジープレビュー機能を説明します。



重要

これらの機能は、テクノロジープレビュー用途に限られます。テクノロジープレビュー機能は、Red Hat 製品のサービスレベルアグリーメント (SLA) ではサポートされていません。これらは、機能的に完全でない可能性があり、Red Hat では実稼働環境での使用を推奨しません。テクノロジープレビュー機能は、近々発表予定の製品機能をリリースに先駆けてご提供することにより、お客様に機能性をテストしていただき、開発プロセス中にフィードバックをお寄せいただくことを目的としています。Red Hat テクノロジープレビュー機能の詳細は「[テクノロジープレビュー機能のサポート範囲](#)」を参照してください。

- Optaweb 従業員勤務表
- Red Hat JBoss EAP (オンプレミスおよび OpenShift) における高可用性オーサリング。Decision Central で高可用性を設定することは現在テクノロジープレビュー機能となっています。検索機能を有効にするための検索とメッセージングの技術が実装の詳細として検討されています。この機能の提供は継続されますが、Red Hat Decision Manager では今後この技術を別のものに置き換える可能性があります。
- ルールユニット: ルールユニットでは、宣言型のアプローチが用いられます。1つのルールセットを小さなルールに分割し、異なるデータソースをこれらのユニットにバインドし、個々のユニットを実行します。ルールユニットはデータソース、グローバル変数、およびルールで構成されます。
- マルチスレッド実行: 1つのデータセットを複数スレッドに分割して解決します。デフォルトでは無効になっていますが、KieBaseConfiguration オプションまたはシステムプロパティにより有効にすることができます。詳細は、[Drools Documentation](#) を参照してください。

第4章 既知の問題

本セクションでは、Red Hat Decision Manager 7.1 の既知の問題を紹介します。

4.1. DECISION CENTRAL

スタンドアロンのエディターを閉じることができない [RHPAM-976]

問題: スタンドアロンのエディターで変更を行った場合、変更を保存するまでエディターを閉じることができない。

問題再現のステップ:

1. スタンドアロンエディターを開きます。
2. アセットに変更を加えます。
3. エディターを閉じます。

期待される結果: エディターが閉じられます。

実際の結果: エディターが閉じられません。

回避策: エディターを閉じる前に変更を保存します。

ガイド付きルール、ガイド付きデシジョンテーブル、ガイド付きデシジョンテンプレートで、"contains" 演算子を使用しても引用符のある列挙が追加されない [RHDM-25]

問題: ガイド付きルール、ガイド付きデシジョンテーブル、ガイド付きデシジョンテンプレートの文字列フィールドに列挙を使用する場合に、作成されるルールには、列挙のドロップダウンから選択した値が引用符 (") 内に囲まれず、検証エラーが発生します。

スナップショットの Maven リポジトリに接続している場合、Decision Central ではプロジェクトがビルド、デプロイされない [RHPAM-1544]

問題再現のステップ:

1. ローカルの Nexus リポジトリを起動します。
2. Decision Central のある Red Hat JBoss EAP をダウンロードします。
3. `kie.maven.settings.custom` システムプロパティの値を、Nexus スナップショットリポジトリをポイントする `settings.xml` に設定します。
4. Red Hat JBoss EAP を起動してログインし、プロジェクトを作成します。

実際の結果: エラーが発生します。

回避策: Decision Central が使用する `settings.xml` ファイルからスナップショット Maven リポジトリを削除します。

4.2. OPENSIFT

Opening Case Modeler (レガシー) が JSON 例外をスローする [RHPAM-1431]

問題再現のステップ:

1. OpenShift に Red Hat Single Sign-On をインストールします。
2. レルムを作成します。
3. OpenShift に Red Hat Decision Manager をインストールします。
4. IT-Orders オーダーのハードウェアケース定義を開きます。

実際の結果: エラーが発生し、アプリケーションが再起動します。

回避策: 以下の方法で、**autodeploy** を設定している **keycloak.sh** スクリプトを置き換えます。

1. 更新済み **keycloak.sh** スクリプトを **Business Central Authoring Environment (on Openshift) crashes when a new "Business Processes (legacy)" asset is created** のアーティクルからダウンロードします。
2. このスクリプトを使って設定マップを作成します。

```
$ oc create configmap sso-script --from-file=keycloak.sh=keycloak.sh
```

3. 設定マップをマウントして、以前のスクリプトを上書きします。ここでの **<NAME>** は、**myapp-rhpam** などのボリューム名になります。

```
$ oc volume dc/<NAME> --add --type configmap --configmap-name=sso-script --sub-path=keycloak.sh --name=keycloak-script --mount-path=/opt/eap/bin/launch/keycloak.sh
```

4.3. デシジョンエンジン

MVEL 式 (1 + 2 * 3 + \$v) により、バインド変数に "no such method or function " エラーが発生する[RHDM-707]

問題: MVEL 言語を使用するルール結果で **\$v** をバインド変数とする **(1 + 2 * 3 + \$v)** といったような式を使用すると、ルールの評価で例外が発生します。

回避策: 式を **(1 + (2 * 3) + \$v)** に変更します。

第5章 RED HAT DECISION MANAGER 7.1.0 で修正された問題

Red Hat Decision Manager 7.1.0 の安定性が増し、本セクションに挙げる問題が修正されました。

5.1. インストールと移行

- rhdm-installer ビルド中に RHDM アーティファクトが正常に更新されない [RHDM-528]
- CVE-2017-15095 jackson-databind: 不完全なブラックリストによる安全でない逆シリアル化 (CVE-2017-7525 の不完全なフィクス) [brms-7.0.0] build.[RHDM-373]

5.2. DECISION CENTRAL

- "Install Git" ダイアログが起動する RHDM で表示される [RHDM-396]
- [GSS](7.0.z) DMNContext の Java Object がフィルター機能で正常に機能しない [RHDM-568]
- DMN XSD の公開 URL [RHDM-513]
- コンテナエイリアスが DMN コンテナ情報にアクセスできない [RHDM-387]
- FEEL Parser: **not** 単項否定および **not** 関数呼び出しのリファクタリング; ワイルドカード? のサポート修正 [RHDM-744]
- WebSocketNotificationServiceFactory サービス定義がない [RHDM-363]
- データオブジェクトクラス名がスタンドアロンエディターでコピーした後に変更されない [RHDM-256]
- スタンドアロン設定ファイルに設定がない [RHDM-22]
- EAP のパスにスペースがあると、Decision-central のデプロイに失敗する [RHDM-371]
- "新規データセット" 画面では "新規データセット" ボタンを押しても何も起こらない [RHDM-425]
- (英語テキストでも) ラベルが locale=ja の Solver 設定でレンダリングされない [RHDM-390]
- "Create New Asset" で locale=ja の場合、"Global Variable(s)" と "Solver configuration" が表示されない [RHDM-391]
- 内部プロジェクトリポジトリーの git URL を取得できない [RHDM-294]
- リポジトリーのクローン後に Java-level deadlock [RHDM-404]
- [ガイド付きルールエディター] フィールド値のヒントが読みにくい [RHDM-356]
- Enum 削除でエラーが発生する [RHDM-698]
- [ガイド付きデシジョンテーブル] 値リストの数字が空白で区切られると解析されない [RHDM-26]
- [ガイド付きデシジョンテーブルエディター] From accumulate で検証エラーが発生する [RHDM-216]
- [GSS](7.0.z) 変更をリモートリポジトリーにプッシュできない [RHDM-668]

- [ガイド付きデシジョンテーブル] Work Item でテーブルへの行挿入でエラー [RHDM-323]
- java.time.LocalDate の変数を別の制限にバインド時に、ガイド付きルールエディターがポップアップを開かない [RHDM-664]
- GlusterFS で Business Central を使用するとパフォーマンスが遅くなる [RHDM-71]
- ガイド付きデシジョンテーブルがタイムゾーンに基づいて日付フィールドの値を変更する [RHDM-693]
- スタンドアロン Decision Central の実行時にエラー [RHDM-403]

5.3. デシジョンエンジン

- MVEL の enum 制限で同時実行の問題 [RHDM-27]
- LHS およびシリアル化/逆シリアル化パッケージでの getter 時に Declaration.getHashCode() で NullPointerException [RHDM-609]
- 実行モデルで edge ケースが発見されない [RHDM-723]
- Mvel Jitted 制限で間違った除算 [RHDM-720]
- security-manager を有効にすると "java.security.AccessControlException: WFSM000001: Permission check failed" が発生 [RHDM-645]
- ベータノードインデックスが型強制をサポートしない [RHDM-677]
- 日付比較での Java 8 date API のサポート [RHDM-686]
- BigDecimal 型の平均関数で ArithmeticException が発生 [RHDM-603]
- LHS およびシリアル化パッケージでグローバルメソッドを使用すると、BaseClassFieldReader.writeExternal() で NullPointerException がスローされる [RHDM-613]
- hashCode>equals なしで From と pojo を共有すると、予期しないルール適用 [RHDM-611]
- フォーム func(x) の from 句で実行モデルが正常に生成されない [RHDM-565]
- 実行モデル - kcontext が RuleContext として使用できない [RHDM-586]
- enum を含む別の kjar からの kbase を含む kjar をコンパイルすると、失敗する [RHDM-562]
- kproject ベースの実行モデルのビルドが KieBase includes を勘案しない [RHDM-561]
- 実行モデルで Timers 属性が正常に解析されない [RHDM-564]
- 'this' の累積が実行モデルで機能しない [RHDM-585]
- 変更されたプロパティの推定が可能でない場合に、実行モデルが間違っってプロパティ反応性マスクを空に設定する [RHDM-542]
- KieRepository に直接インストールすると、Kjars は実行モデルを使用したプロジェクトとして認識されない [RHDM-548]
- 増分更新中にステートレスセッションが KieBase 調整の対象にならない [RHDM-543]

- プロパティ反応性が更新をスキップすると、Child left tuples が再オーダーされない [RHDM-554]
- 実行モデルのバグ [RHDM-519]
- DRL 関数インポートが static inner class を使用すると機能しない [RHDM-591]
- IBM JDK >= 8.0.5.6 での LinkageError [RHDM-297]
- WorkflowRuntimeException は RuleSetNodeInstance の根本原因の例外のみをラップする [RHDM-614]
- "import" がない場合に BPMN2 プロセスで常にコンパイルエラーになるとは限らない [RHDM-631]
- Drools エンジンが PMML SimpleSetPredicate を正常にコンパイルしない [RHDM-317]
- GetResultValue メソッドが値のない空の Optional を返さない [RHDM-342]
- PMML ツリーモデルで Last prediction missing value strategy が機能しない [RHDM-341]
- PMML ツリーモデルで Weighted confidence missing value strategy が機能しない [RHDM-343]
- 実行モデルにおけるコンストラクター呼び出しで間違った制限の DSL生成 [RHDM-738]
- ベータノード共有がない [RHDM-523]
- workbench プロジェクトへの PMML アセットの追加が機能しない [RHDM-479]
- Drools コンパイラーが Java 9 を認識しない [RHDM-376]
- 実行モデルにおけるグローバルの使用で間違った制限の DSL生成 [RHDM-525]
- 生成された実行モデル DSL 静的インポートがメソッド名の不整合を発生させる [RHDM-527]
- 実行モデルで異なる patter から変数バウンドでメソッドを起動することで、間違った制限の DSL生成 [RHDM-533]
- 実行モデルで null 値に対するチェックの制限が正常に生成されない [RHDM-563]

5.4. DECISION SERVER

- スタンドアロンコントローラーがストレージおよび通知サービスを使用しない [RHDM-372]
- ファイル "kie.policy" のパーミッション定義に "kie-execution-server" 文字列が含まれる [RHDM-264]

5.5. データモデラー

- [GSS] (7.0.z) Data Objects にマルチバイトクラス名を使用できない [RHDM-398]
- Data Objects にマルチバイトフィールド名を使用できない [RHDM-626]
- Data Objects ソースで最初にマルチバイトラベルが Unicode 数字として保存される [RHDM-458]

5.6. OPENSIFT における RED HAT DECISION MANAGER

- RHDM テンプレートから xpaas ラベルを削除する [RHDM-684]
- optaweb-employee-rostering テンプレートが不完全 [RHDM-739]
- imagestreams の新 redhat.io レジストリへの切り替え [RHDM-715]
- RHDM イメージの EAP ベースイメージを 7.1.2 から 7.1.3 に更新する [RHDM-690]
- Decision Central OpenShift での Liveness および Readiness probe が失敗 [RHDM-706]
- KIE サーバー / OpenShift を完全に変更不可能とする [RHDM-587]
- RHDM optaweb を optaweb-employee-rostering に名前変更 [RHDM-727]
- RHDM OpenShift テンプレートでの KIE サーバーの名前に一貫性がない [RHDM-729]
- GIT_HOOKS_DIR パラメーターが RHDM テンプレートで表示されない [RHDM-722]
- インポートされたプロジェクトの Git hooks サポート [RHDM-666]
- Workbench スクリプトに org.appformer.m2repo.url 設定がない [RHDM-732]
- RHDM のテンプレートから EAP ADMIN パラメーターを削除する [RHDM-672]

5.7. MAVEN リポジトリー

- Maven repo: freemarker バージョンが MRRC 要件に適合しない [RHDM-588]
- PMML アセットが kie-maven-plugin でコンパイルされない [RHDM-478]
- RHDM maven リポジトリー ID が生成されるのではなく、設定可能とすべき [RHDM-735]
- RHDM の kieserver テンプレートに MAVEN_REPO_SERVICE パラメーターがない [RHDM-673]
- drlx-parser および java-parser アーティファクトがない [RHDM-574]

5.8. RED HAT BUSINESS OPTIMIZER

- パーティション化された検索機能に関するパフォーマンス低下 [RHDM-32]
- optaplanner-persistence-jpa 依存関係の肥大化の修正をバックポートする [RHDM-636]
- DataModeller の OptaPlanner プロパティパネルのラベルの位置がおかしい [RHDM-336]
- SolverValidator が bean として登録されていない [RHDM-257]

第6章 RED HAT DECISION MANAGER 7.1.1 で修正された問題

Red Hat Decision Manager 7.1.1 では、お客様から報告いただいた重大な問題に対応しました。

6.1. DECISION CENTRAL

- 安全な Git リポジトリからプロジェクトをインポートできない [RHPAM-1617]

6.2. インストールと移行

- Decision Server ディストリビューションの更新ツールに誤字がある [RHDM-758]

6.3. デシジョンエンジン

- MVEL `BigDecimal.valueOf(100)` にランダムなパラメータタイプのメソッドを使用する [RHDM-699]
- MVEL 式 $(1 + 2 * 3 + \$v)$ により、バインド変数に "no such method or function " エラーが発生する [RHDM-707]

6.4. OPENSIFT における RED HAT DECISION MANAGER

- s2i ビルドがマルチモジュールの Maven プロジェクトで失敗する [RHDM-765]

6.5. MAVEN リポジトリ

- Maven リポジトリが `org.kie.server:kie-server-controller-client` [RHDM-770]

付録A バージョン情報

本書の最終更新日: 2018 年 11 月 1 日